

西戸山地区中学校統合協議会だより

▶▶▶ 去る 10 月 19 日、西戸山中学校で第 7 回の統合協議会が開催されました。今回の協議会から大久保地区町会連合会代表の方にも参加していただくことになり、教育委員会事務局次長から代表者の方へ委嘱状が手渡されました。次に、教育委員会事務局から、安全部会で検討し、東京都に要望していた都バス高 71 系統の車庫から起点までの経路の通し運行について、19 年度については行わないという都からの回答があったことが報告されました。今後の対応については、安全に関する専門部会で協議していきます。次に、新校の校名について、各委員が持ち寄った校名案に基づいて協議しました。活発な議論が交わされましたが、今回の意見を踏まえて再度持ち帰り、次回引き続いて決定に向けて協議することになりました。次回の統合協議会は 11 月 17 日に西戸山第二中学校で開催予定です。

新校の校名について

各委員からの校名候補 (50 音順)

校名候補	主な理由
新宿西戸山 (新規)	・新宿の西戸山地区にある学校ということがわかりやすい。・台東区等でも御徒町台東中などがある。
新西戸山	・新しい西戸山地区の中学校だから。
高田馬場	・高田馬場という知名度が高い。・同じような名前がない。
戸山ヶ丘	・歴史的に戸山ヶ原に位置して、また小高い地形だから。
戸山ヶ原	・戸山という地域の名前が他の学校でもなくなっているので、残して欲しい。 ・広々とした大地に無限大に育つ夢と未来を残して欲しい。
戸山西	・戸山という名前を残して欲しい。
西戸山	・西戸山地区の中学校だから。・西戸山中も西戸山第二中もともと一緒であったという経緯がある。・同窓会や地域も親しんだ名前である。・よく知られた名前である。
西戸山第一	・統合して 1 つになるから。

主な発言

- ・新校校名の公募の際に、新しい校名を考えて、新しく出発したいという人が 75 人いたことが重要だと思う。ひとつひとつの意見を重要視して、両校が本当にいい出発ができるような名前にして欲しい。多数決でよいのではないかという決め方はして欲しくない。
- ・PTA の運営委員会で校名は『西戸山』がよいという意見がかなり多かった。なぜ西戸山という校名が変わるのか、西戸山以外考えられないという意見も多かった。
- ・西戸山中の地域、OB では『西戸山』という意見が大半である。理由は、西戸山中も西戸山第 2 中も、「西戸山」という慣れ親しんだ名前が校名であるから。しかし、西戸山第二中が『西戸山』という名前に納得していただいての話になる、という意見もあった。
- ・当初校名をどうやって決めようかという際に、票数は関係なく、一般公募であがってきた校名をもとにして考えようということだった。
- ・西戸山地区にある『高田馬場中』ではおかしいのではないか。
- ・既存の名前よりも新しい学校ができるということで決めてほしい。もし新校の校名が『西戸山中』になった場合、西戸山中へ西戸山第二中が入っていく吸収のイメージになることが危惧されるのではないか。
- ・西戸山第二中を吸収するという気持ちはない。今の西戸山中がそのままあるということではない。同窓生のみなさんの意見も大事にしていきたい。
- ・同窓生も重要だが、将来進む子どもたちがどう感じるかを中心に考えたほうがよい。校名が『西戸山』になると、人数が少ない西戸山第二中は不利な立場になってしまうのではないか。もちろん吸収することはないが、吸収されてしまったという印象を強く持つ人もいるのではないか。

- ・大規模な学校と小規模な学校だから吸収されてしまうといった考えは捨てたほうがいい。西戸山中も移転すると生徒数が少なくなってしまうかもしれない。親が考えているから子どもにフィードバックされてしまうのではないか。
- ・募集した校名案の理由の部分にかなり大事な指摘があると思う。例えば「西戸山中の現場所での改築であるから名称を変えないのは当然である」というのは西戸山中の同窓生の方の思いだと思う。一方で「西戸山中でいいと思うけれどもけじめとして変えるべきだ」という学校関係者の方もいる。ひとつひとつ検討したほうがよいと思う。
- ・四谷中などの統合の際も両方の子どもたちをどうなじませるか、新校で相当の苦労があったと伺っている。統合するまでの4年半と、統合してからの2年間の当事者の生徒・保護者の気持ちを一番大切にしたい。
- ・新校の校名や校歌・校章などは統合に向けて考える過程で気持ちをひとつにしていくことに意義があると思う。それを考えると統合まで時間がありすぎる。校名が決定した後も前向きな気持ちで協議会に参加できるような校名をぜひお願いしたい。
- ・まず西戸山中があって、そこから西戸山第二中が分かれた、元に戻るから校名は『西戸山』がよいという考え方は吸収と同じだと思う。そういった意見が多いことを考えると、校名が『西戸山』になれば「やはり吸収したのだな」と考える危険性がある。そういった意識が協議会や一般区民の方の心の隅にあるのではないか。校名は『西戸山』『西戸山』等の解決策がよい。
- ・旧西戸山中、旧西戸山第二中がベースになって新生『西戸山中』ができるという認識がしっかり確立できればよいが、それが難しい、子どもたちがどう思うかという懸案がある。台東区などで御徒町台東中という学校があるが、新しい案として『新宿西戸山』という名前はいかがか。いろいろな思いはあるが、大きく構えて協議した方がよい。
- ・西戸山地区にあって、対等の統合だと考えると、『西戸山』という名前であっても統合の時期が過ぎれば自然になっていくのかなと思う。多数決ではないが、西戸山という案にこれだけ応募があるというのは無視できないのではないか。
- ・新校舎で先に西戸山中が移転しているところに入ってこなければいけない西戸山第二中の子どもたちを考えると、子どもに対して悪いことをしている気がする。校名はとても大切なものであるし、この時期に決めるのは厳しいのではないか。
- ・校名の決定時期を延ばしても議論は同じではないかと思う。もう一度違う角度から検討するというのならわかるが、議論は出ているのではないか。
- ・校名を応募する際、西戸山中は『西戸山』という応募でよいが、西戸山第二中は西戸山第一中がないので、『西戸山第二中』という応募はできない。統合なので『西戸山』を抜いての公募でも良かったのではないか。
- ・統合した際に、半年前から新校舎にいる旧西戸山中と旧西戸山第二中の子どもたちのなかで統合前はどちらの学校だったのかという話は必ず出てくる。その時『西戸山中学校』という校名が残っていれば、西戸山第二中は西戸山中に吸収されたというイメージを抱かざるをえないのではないか。どちらかの校名を残すのは公平ではないし、新しい歴史がはじまるのだから、既存の校名でないほうがよい。
- ・校名が『西戸山』になった場合、いくら大人が「吸収したのではない」と言ってもそういう風にとらえる人がいるかもしれない。統合時の子どもたちがどういう思いをするかを考えると、それは避けなければいけない。
- ・最初から既存の学校名にはしないと決めて公募したのではないので、既存の校名だからといって応募数のある校名を無視できないのではないか。応募した方にも失礼だと思う。
- ・校名の決定方法を協議した際、『西戸山中』と決定してよいのではないかという意見もあり、公募制を採用する際にも既存の校名を外そうと言える雰囲気ではなかったと思う。
- ・皆が納得する理由付けがあってこそ校名が決まるのではないか。
- ・今回の協議を踏まえて、再度持ち帰って検討していただき、次回引き協議して決定する。